

## 自治会活動を振り返って(退任者より)



自治会長 遠山 通夫

平成30年度の自治会役員へのお声掛けをいただき、財管会計部副部長・会計・副会長（総務部長兼務）・会長と8年間に亘り役員を務めさせていただきました。

この間の活動にあたって一番思い出が深い出来事は、何といたってもコロナ禍により行動の規制や自粛等が求められ、当自治会においても行事や活動の中止及び延期または実施内容の見直し等が求められ、

特に当自治会においても初めての事と思いますが、令和2年度から4年度の3回にわたり通常総会の開催にあたっては、会員が一堂に会しての開催ができず、やむを得ず書面評決による開催となりました。自らの経験のないことへの対応は、過去の出来事を参考にと言われますが、誰もが経験のないコロナ禍への対応は、関係機関への相談や資料を参考にするなど、右往左往するなか、手探りの対応を行ったことが強く印象に残っています。

更に、村檜町自治会規約について令和元年に税務署の指導があり、3つの条項の変更と1つの条項の追加を行い、11年ぶりに規約の改正を行いました。この時も税務署や行政機関へ足しげく通い、相談や教示をいただきながら走り回ったことも思い出されます。

また、自治会費の納金にあたっての「児童の人数割免除」や、「総会資料の全戸配布」等、会員皆様の強い要望への対応を行いました。社会構造の変化や価値観の多様性が見られる現代にあつて、地域コミュニティーの希薄により地域への関心の薄れや住民同士で地域課題を解決する地域力の衰退を危惧する声もあり、このことは自治会加入の是非の議論までされるような時代背景となり、これらに加え人口の減少と高齢化が大きく覆いかぶさり、自治会運営は難しい局面を迎えているように思います。

特に自治会員数は、私が役員になった平成30年度(4月1日現在)は2,578人であったものが、令和8年3月23日現在では2,161人と大きく減少しており、このことは、先輩の皆様が今まで築き上げていただいた機能が十分発揮できなくなり、『共同した実践活動による、住み良い環境作りと健康で明るい社会生活を築く』この難しさにつながってきていることを実感します。

このような状況下において、規約や約束事の遵守により基本に立ち返り、活動目的を互いに確認するとともに理解し合い、村檜町の持つ、歴史・文化・風土を大切にされた地域特性を活かした事業を推し進めていただくことをお願いして、退任のことばとさせていただきます。



総務部部長 田中 孝幸

在任中は、広報作成など、多くの活動に携わらせていただきました。特に、敬老祝寿会や納涼祭などでは、多世代が自然に集い、笑顔が広がる「むらくし」らしい光景に何度も励まされました。これからも引き続き自治会活動を応援し、必要な場面では微力ながらお手伝いできればと思っております。



財管会計部部長 岡崎 一郎

縁があつて村檜に移り住み3年半が経ちました。そして自治会の「財管会計部」を務めさせて頂き、皆様の大切な資金を会計という立場で管理させて頂くなか、その大切さと難しさを改めて感じました。短い間でしたが、皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、何とか無事任期を終えることができました。有難うございました。



事業部部長 細井 学

当初は同年の熱心な誘いで仕方なく引き受けた役員でした。最初は不安でしたが、仲間が存在が助けになり、楽しく2年間やることができました。みんな有難う、これからもよろしくお祈りします。最後に、これからの自治会には若い力が必要です。是非若い人の斬新な考えで、自治会を変えていってください。



生活環境部部長 小松 久郎

2年間ありがとうございました。児童公園や墓地の草刈りなどやり終えたところから綺麗になっていく様子にやり甲斐を感じることができました。また、何回か実施した向坂の竹や倒木の除去作業では作業の度にかぶれてしまい閉口しましたが、今思えば良い思い出です。今後も町民の皆様方のために何かしら貢献できればと考えておりますので、どうかよろしくお祈り致します。



**女性部部长 田中 奈緒子**

この2年間様々な自治会活動に関わってきました。中でも祝寿会、高齢者交流会、ぱんぷきんクラブの集会、広報活動では各女性部員が協力して取り組んできました。ご高齢の皆様や子供さん、保護者の方々に楽しんで頂けたと思っています。他の自治会活動のどの役割の方も町の為に尽力されているのを真近で見ても改めて感謝し、今後は地域の活動にもっと目を向けていきたいです。2年間有難うございました。



**女性部副部长 中西 真理子**

女性部の活動を通じて高齢者のお宅に伺ったり、ぱんぷきんクラブでお子様や親御さんと知り合えたことは財産になりました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。元気なシニアの皆さんに頼もしさを感じる一方で、一人暮らしの方や支援の必要な方、又遠くから越して来て頂いた方にも「住みやすい村櫛町」を体現して頂けたのならうれしいです。2年間有難うございました。

**3月の主な活動**

**ふれあい花壇植え替え**  
3月14日(土) 於:ガーデンパーク



**墓地清掃**  
3月15日(日) 於:共同墓地



**ポンプ点検**  
3月22日(日) 於:各防災倉庫前



**自主防災隊入退隊式**  
3月22日(日) 於:村櫛会館



**ぱんぷきんクラブ「キッズの集い」**

2月28日(土) 於:村櫛会館



手遊びの様子



ボール遊びの様子



絵本の読み聞かせの様子

**令和7年度村櫛町津波避難訓練**

3月8日(日)

■想定

午前9時00分南海トラフ巨大地震 (M9.0) が発生!! 浜松市でも震度7~6強を観測、静岡県沿岸に大津波警報が発表された。

■参加者

一般住民 110世帯 (14組、15組、17組の4・5・6班)の皆さん

■訓練内容

午前9時00分のサイレン吹鳴を合図に、避難先に自家用で向かい到着後参加証を提出する。

万歳坂上での訓練の様子



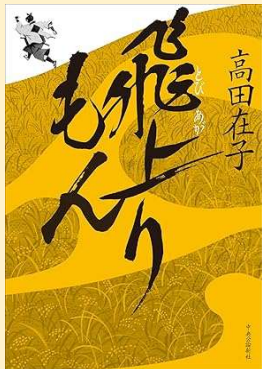
\* 訓練参加者数は、万歳坂上・朝霧の園南 共に26世帯ずつで、実世帯110世帯中52世帯 (47.3%) でした。



**ユカリ文庫 案内**

題 飛上りもん

作者 高田 在子



紀伊国の豪農・井澤弥惣兵衛は、大切な人を洪水で失った無念を晴らすため「紀州流」を確立。「米將軍」とも呼ばれる8代將軍・徳川吉宗に江戸へ呼び寄せられ、60歳を過ぎて旗本に取り立てられる。吉宗の下でコメ増産に成功した弥惣兵衛は、勘定吟味役格へと異例の大出世を遂げる。(た)

**4月**

4月1日(水)	広報委員会
4月2日(木)	部長会
4月6日(月)	春の交通安全運動事前広報街頭指導
4月8日(水)	村櫛町自治会監事監査 回覧物配布日
4月10日(金)	役員会
4月11日(土)	第1回組長会
4月12日(日)	ポンプ点検
4月13日(月)	総会資料印刷
4月14日(火)	総会資料製本
4月22日(水)	回覧物配布
4月24日(金)	「ひまわりの絆プロジェクト」

4月27日(月) 村櫛会館清掃(休館日)

**5月**

5月1日(金)	広報委員会
5月8日(金)	部長会 回覧物配布 総会委任状締切り日
5月10日(日)	ポンプ点検
5月16日(土)	通常総会
5月22日(金)	臨時会館運営委員会/役員会 回覧物配布
5月23日(土)	ふれあい花壇植替作業 町有地等現地確認
5月24日(日)	戦没者慰霊平和祈念式
5月26日(火)	第1回自治会の会館利用団体との懇話会 第1回納涼祭実行委員会



自治会事務所・村櫛会館  
053-489-2002  
<http://www.murakushi.net/>

自治会の活動予定